

# 令和2年度 調布市ひとり親家庭等アンケート調査結果

アンケート調査票 送付対象世帯

児童扶養手当受給資格者 1349世帯

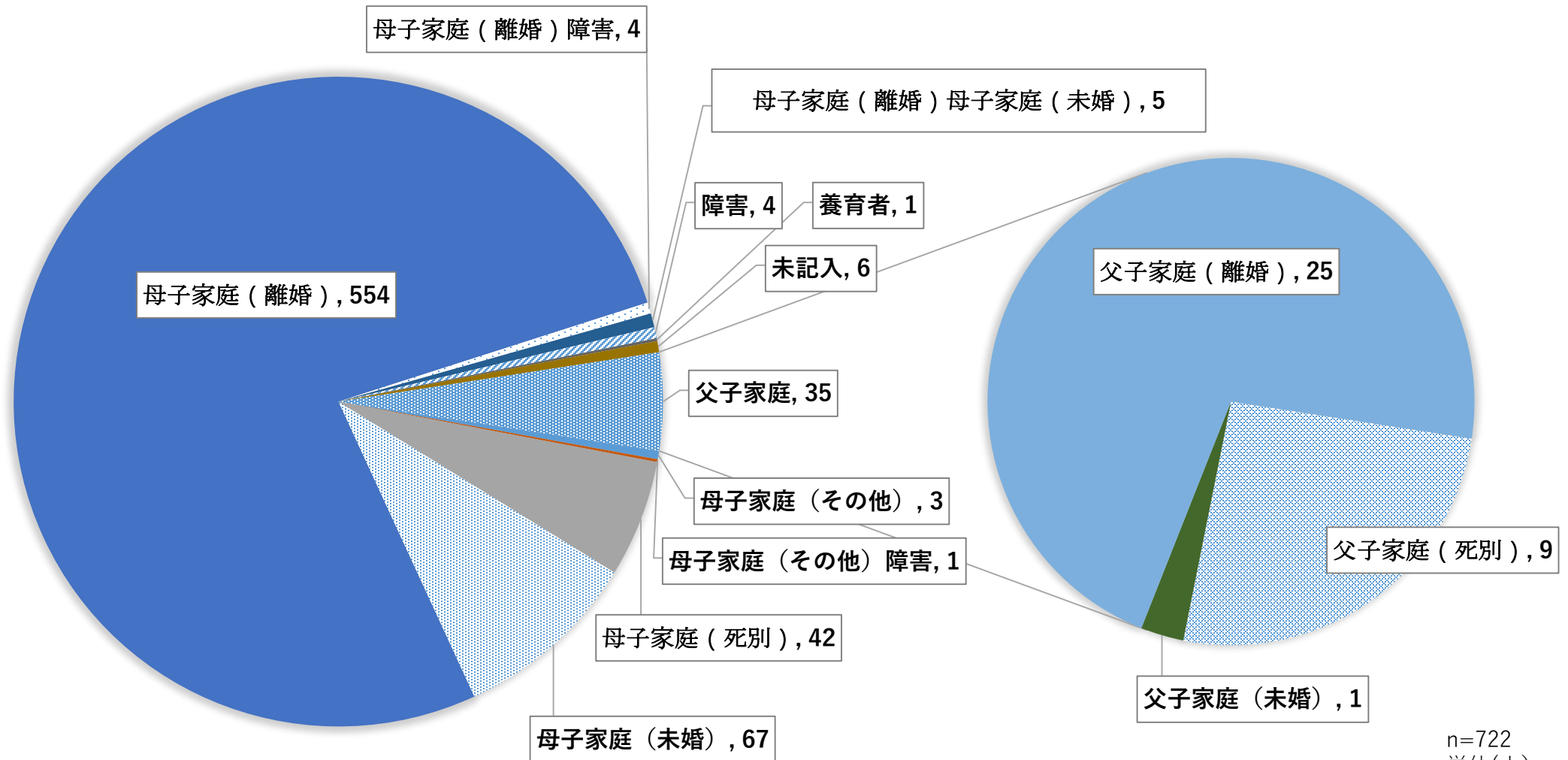
及びひとり親医療証のみ受給者 67世帯 計1416世帯

回収数 722枚 回収率50.98%

※ 平成29年度 送付数1376世帯 回収数642枚 回収率46.7%  
平成30年度 送付数1442世帯 回収数475枚 回収率32.9%  
令和元年度 送付数1425世帯 回収数673枚 回収率47.22%

## 世帯

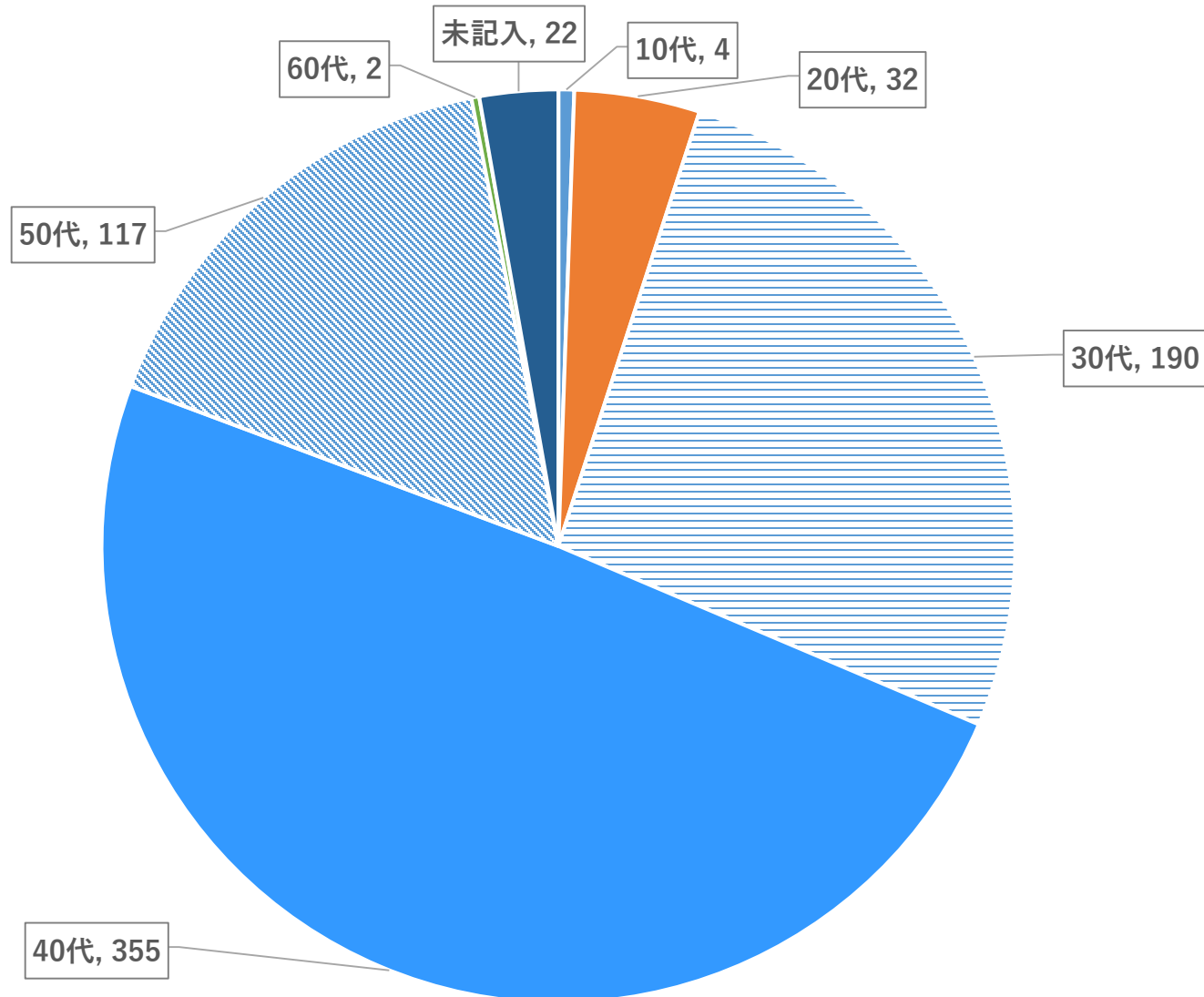
回答者の世帯は以下の通りであった。母子家庭，父子家庭にチェックがあるが理由の記載がない場合はその他に集計した。理由が複数にチェックのあるものはそのまま併記している。



n=722  
単位(人)

## 年齢

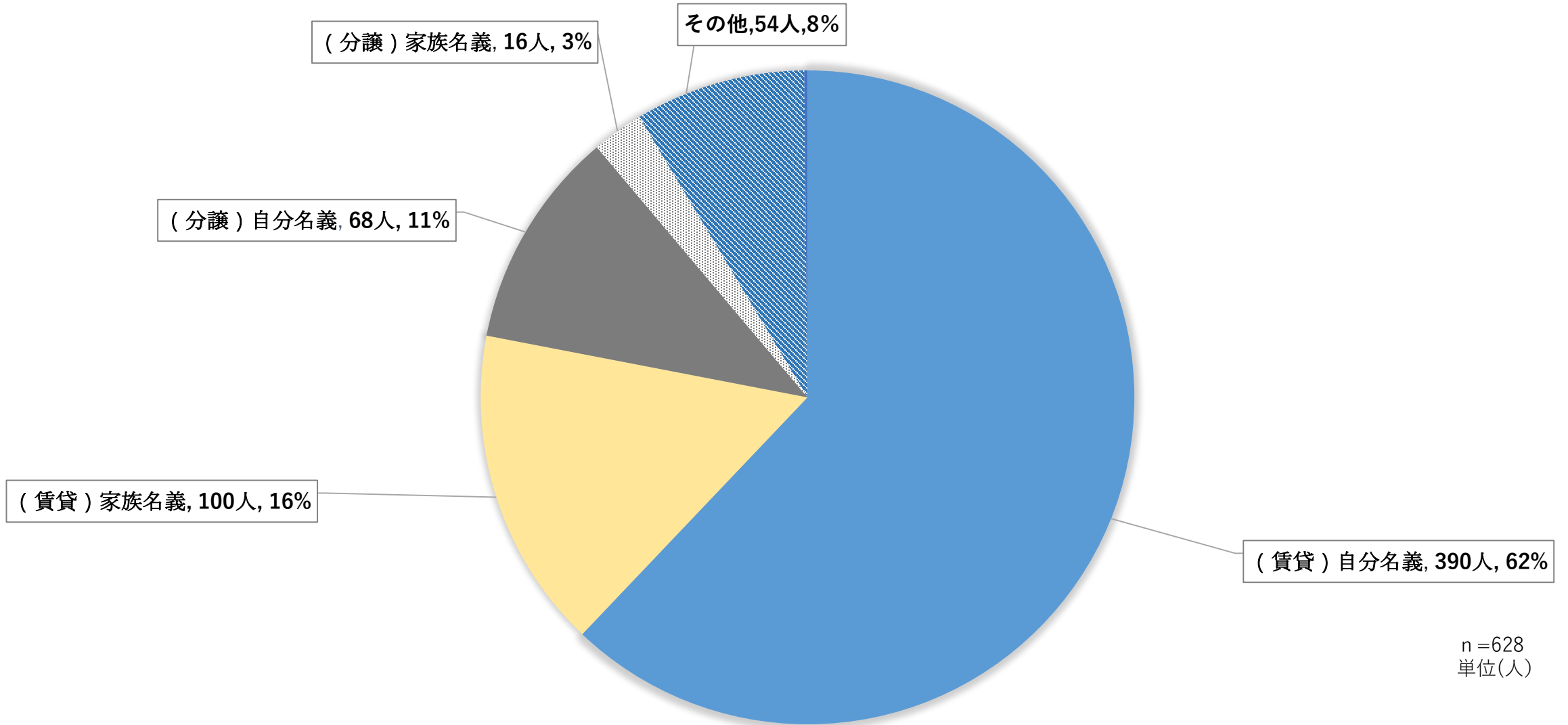
10代から60代の幅広い回答を得た。内訳の割合で一番多かったのは40代，次に30代，50代の順であった。



n=722  
単位(人)

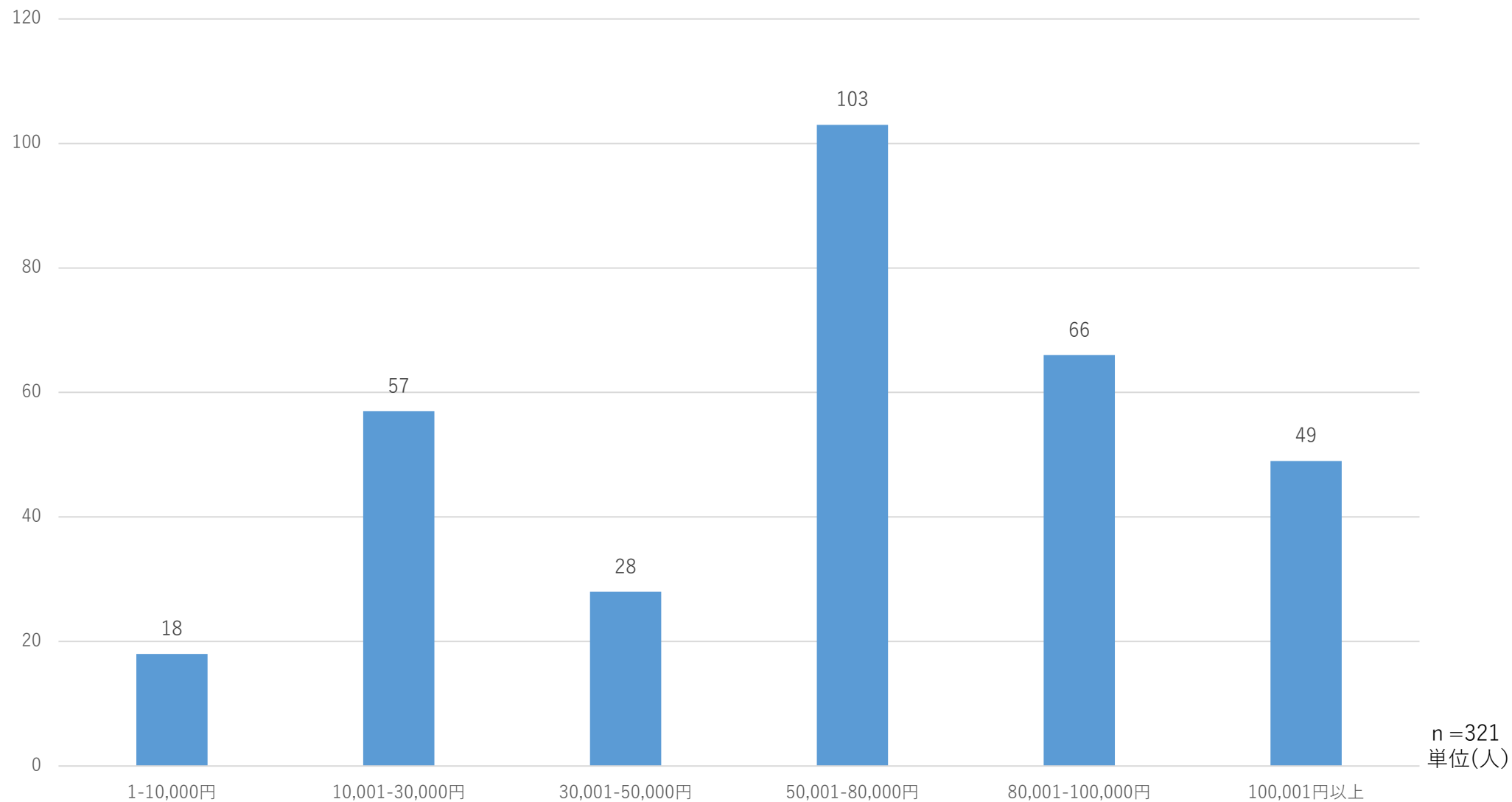
## 住宅の名義

最多は自分名義の賃貸住宅（62%）である。その他は賃貸と分譲の両方にチェックがあるケースが含まれ、賃貸住宅に住みながら自分名義または家族名義の住宅ローンを払うなど名義と居住実態が複雑になっているケースが考えられる。



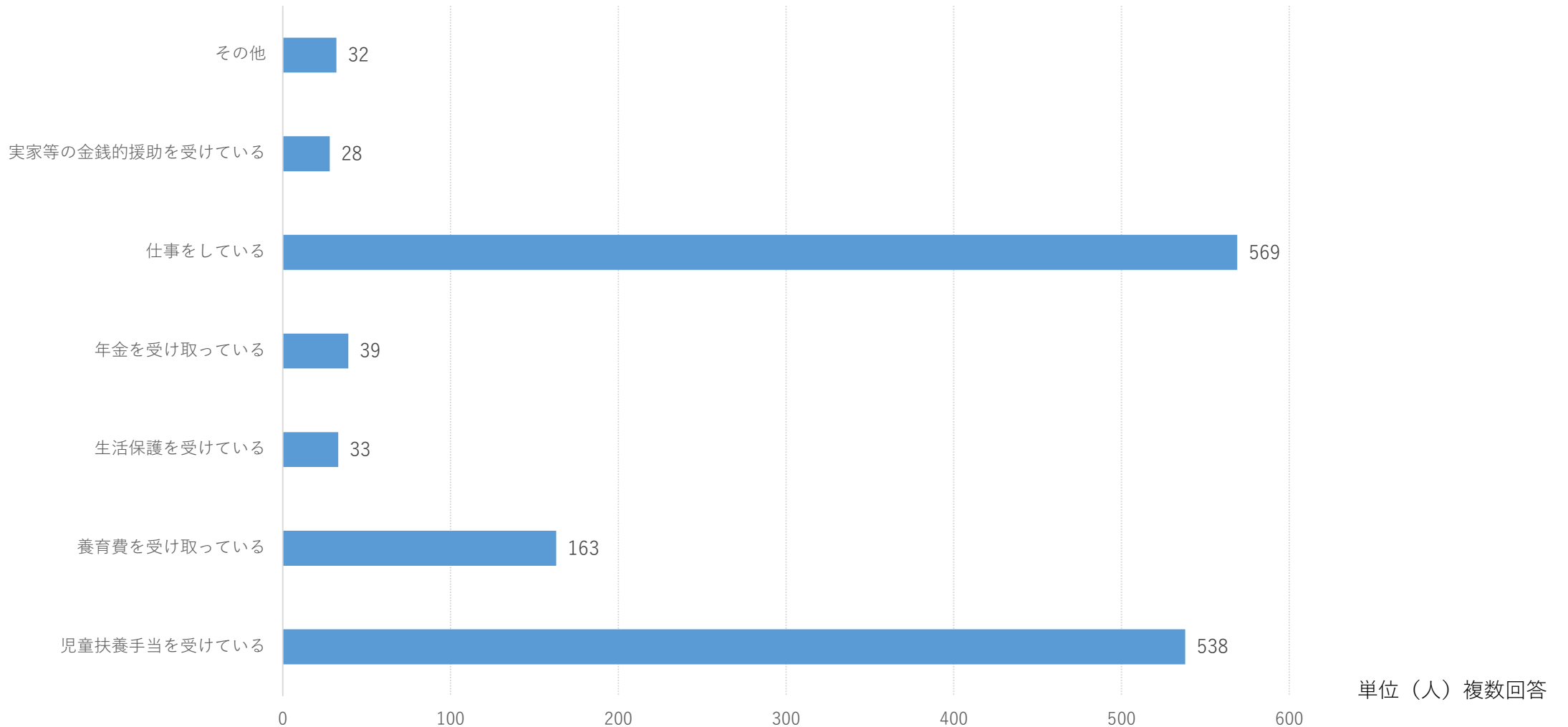
## 家賃

賃貸物件における家賃の負担額を尋ねた。家賃の支払いをしていると答えた人は321人で、50,001円から80,000円までの負担をしている人が多かった。



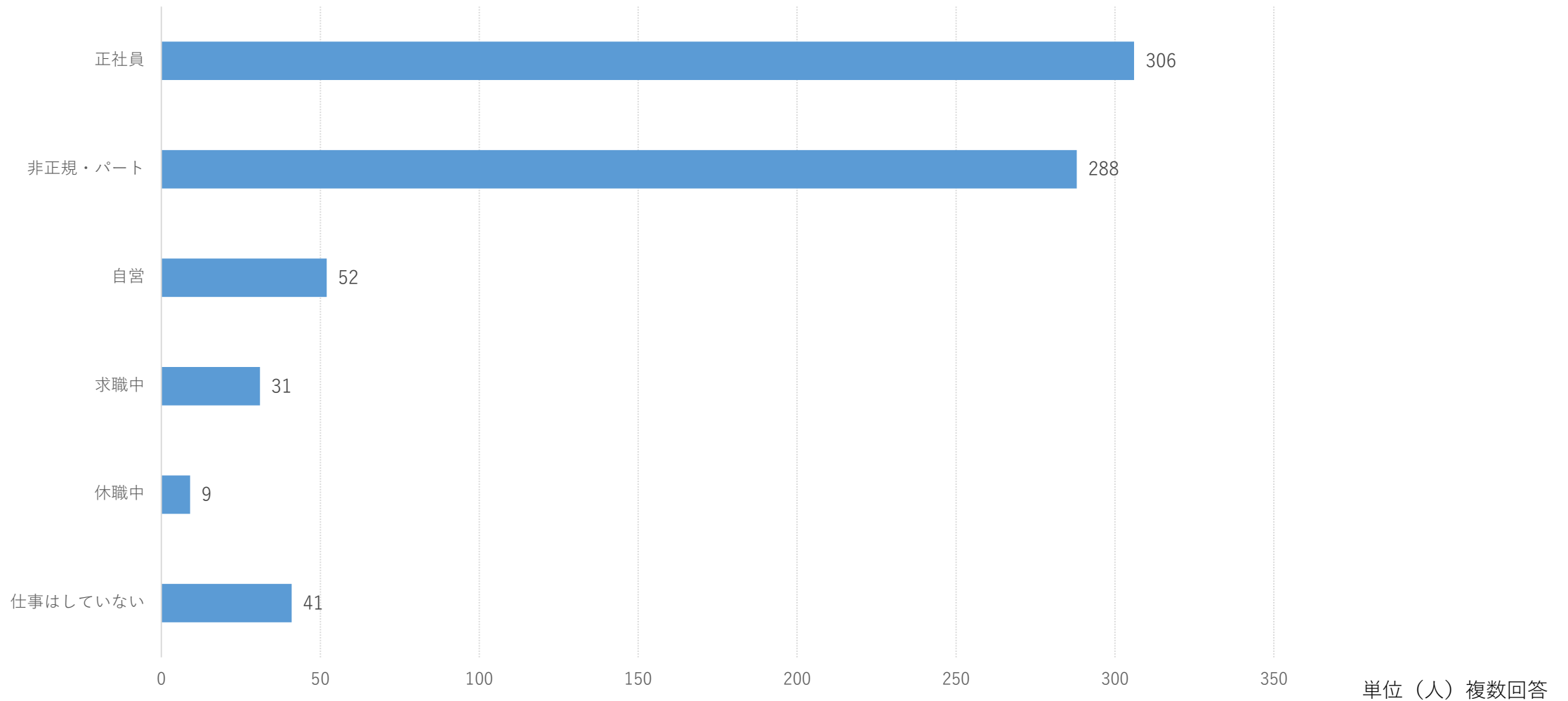
## 収入

収入の内訳を複数回答として尋ねた。最多項目は「仕事をしている（就労収入）」で、児童扶養手当を受給していないひとり親医療証のみを受給している家庭にもアンケート調査を実施したこともあり、「児童扶養手当を受けている」の値よりも「仕事をしている（就労収入）」の値が高かった。



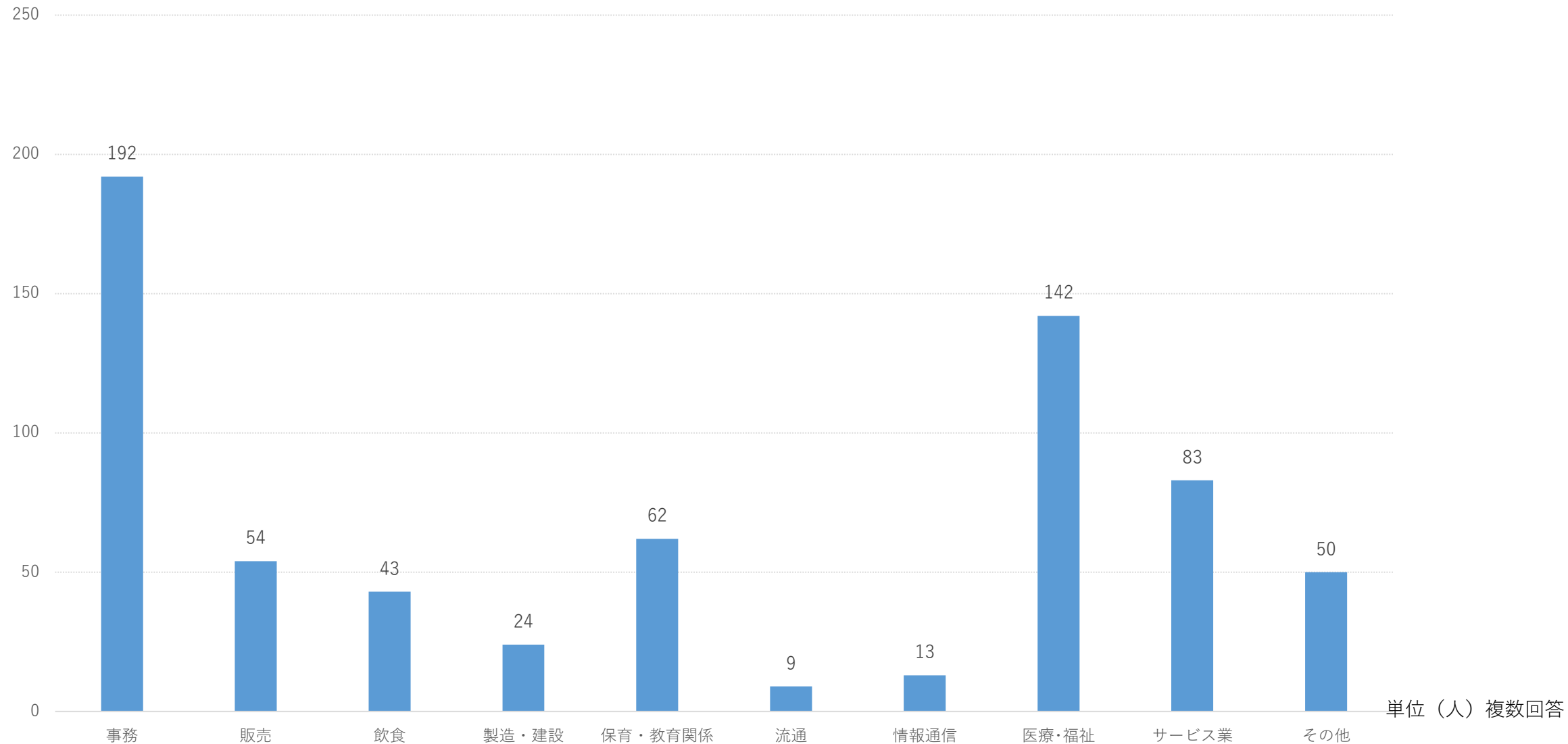
## 現在の仕事

現在の就労状況を尋ねた。複数にチェックが入ったため、複数回答とした。ダブルワーク、就労中であるが休職していたり転職活動を行っているなどと思われた。「正社員」と「非正規・パート」と答えた人が多かった。



## 仕事内容

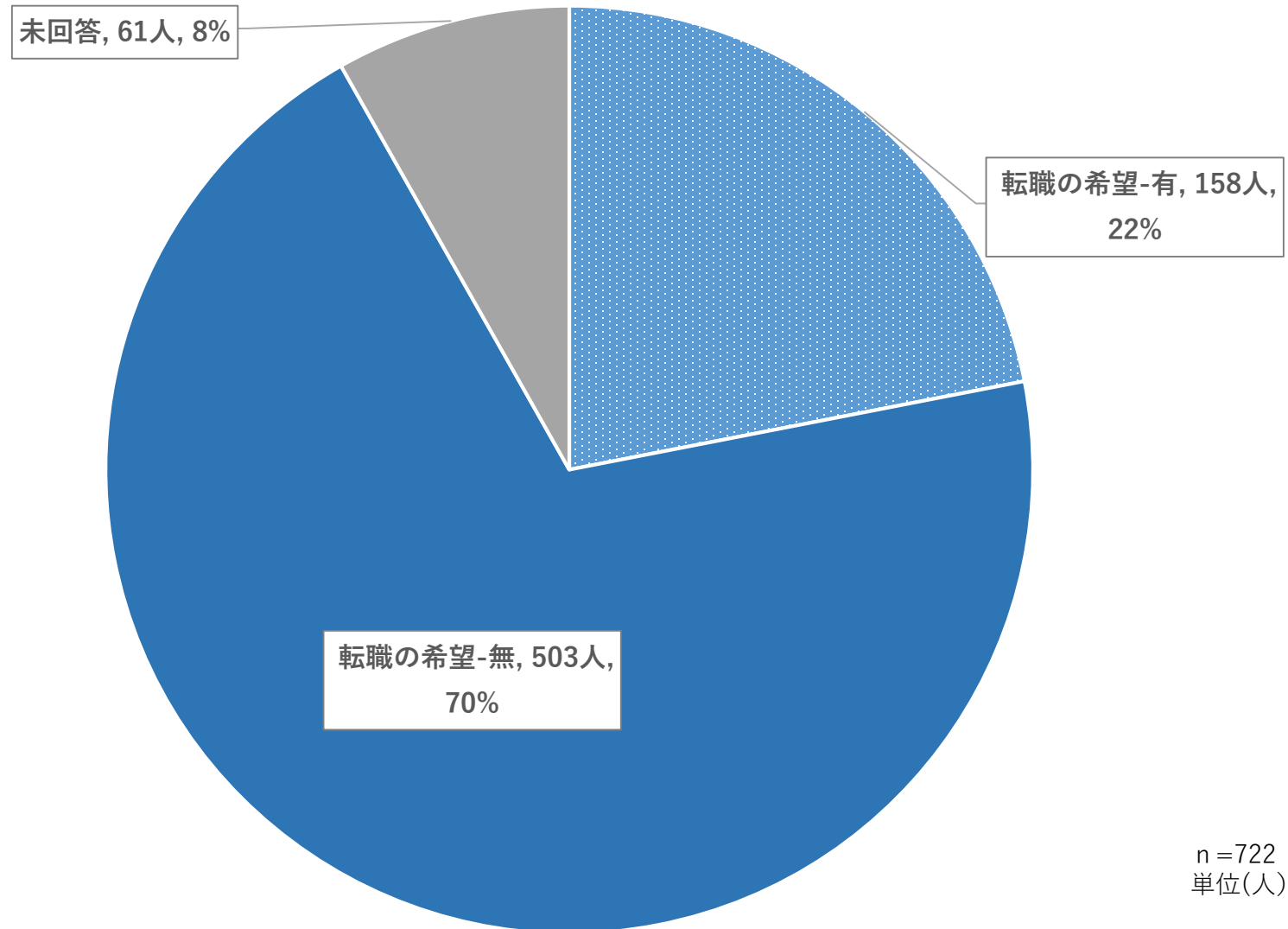
仕事内容も複数にチェックがついた。ダブルワークのほか、職務内容（事務）とその会社の業種（医療や製造）を同列に提示したため、両方にチェックした人がいたと思われる。





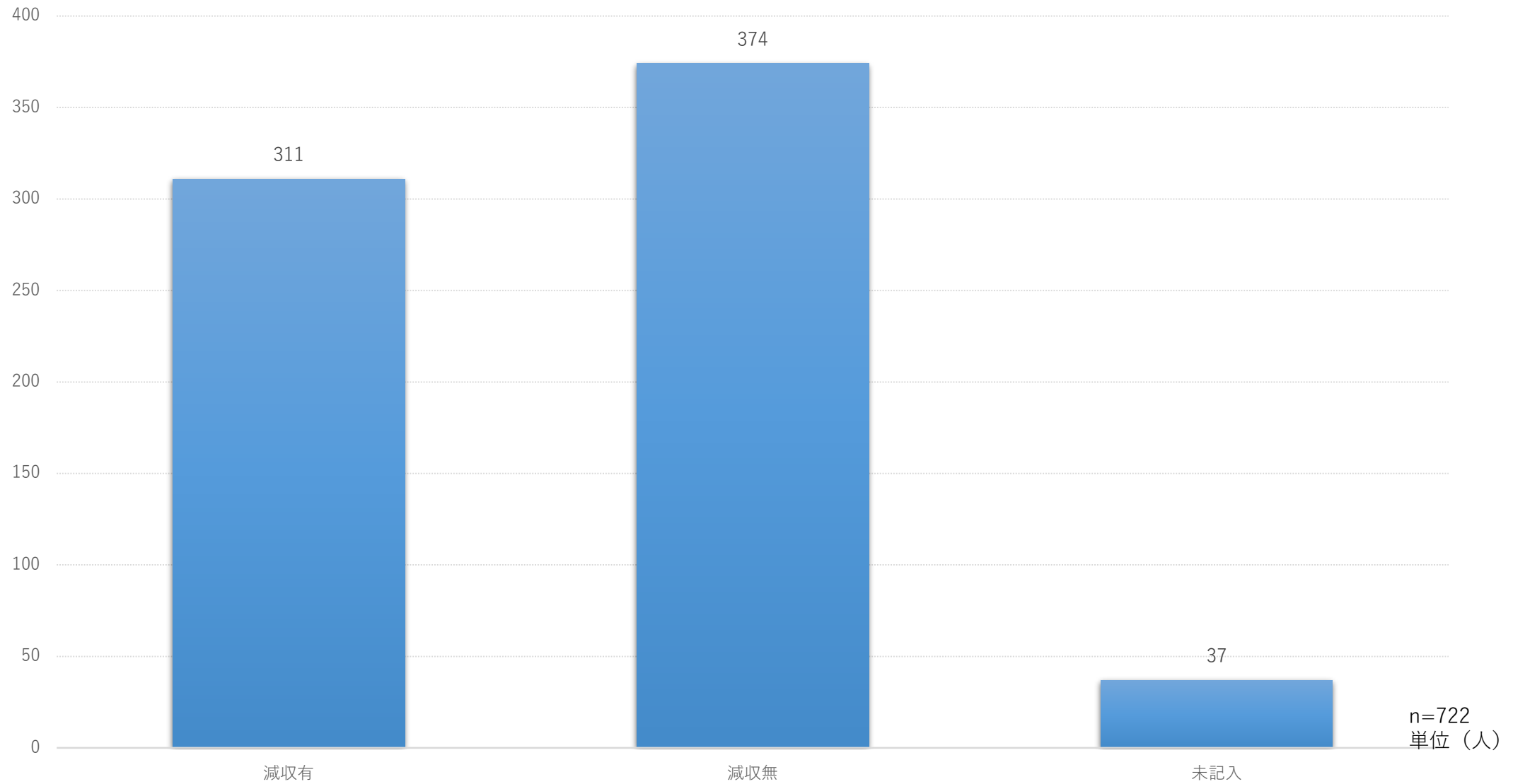
## 転職の希望

およそ2割の人が転職について検討・希望があることが分かった。



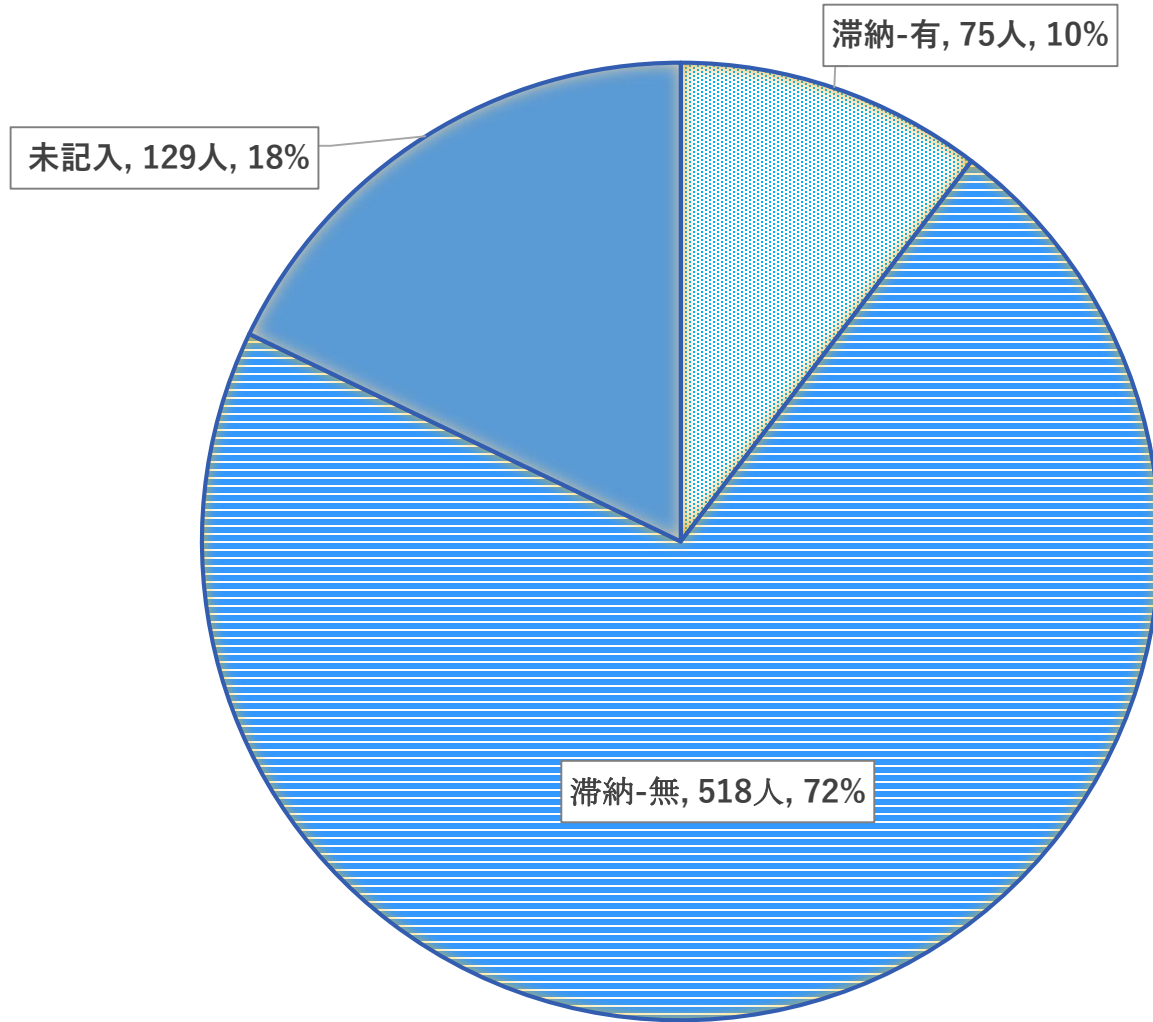
## コロナによる減収

コロナによる影響を尋ねた。減収があったと答えた人は全体の4割を超えている。



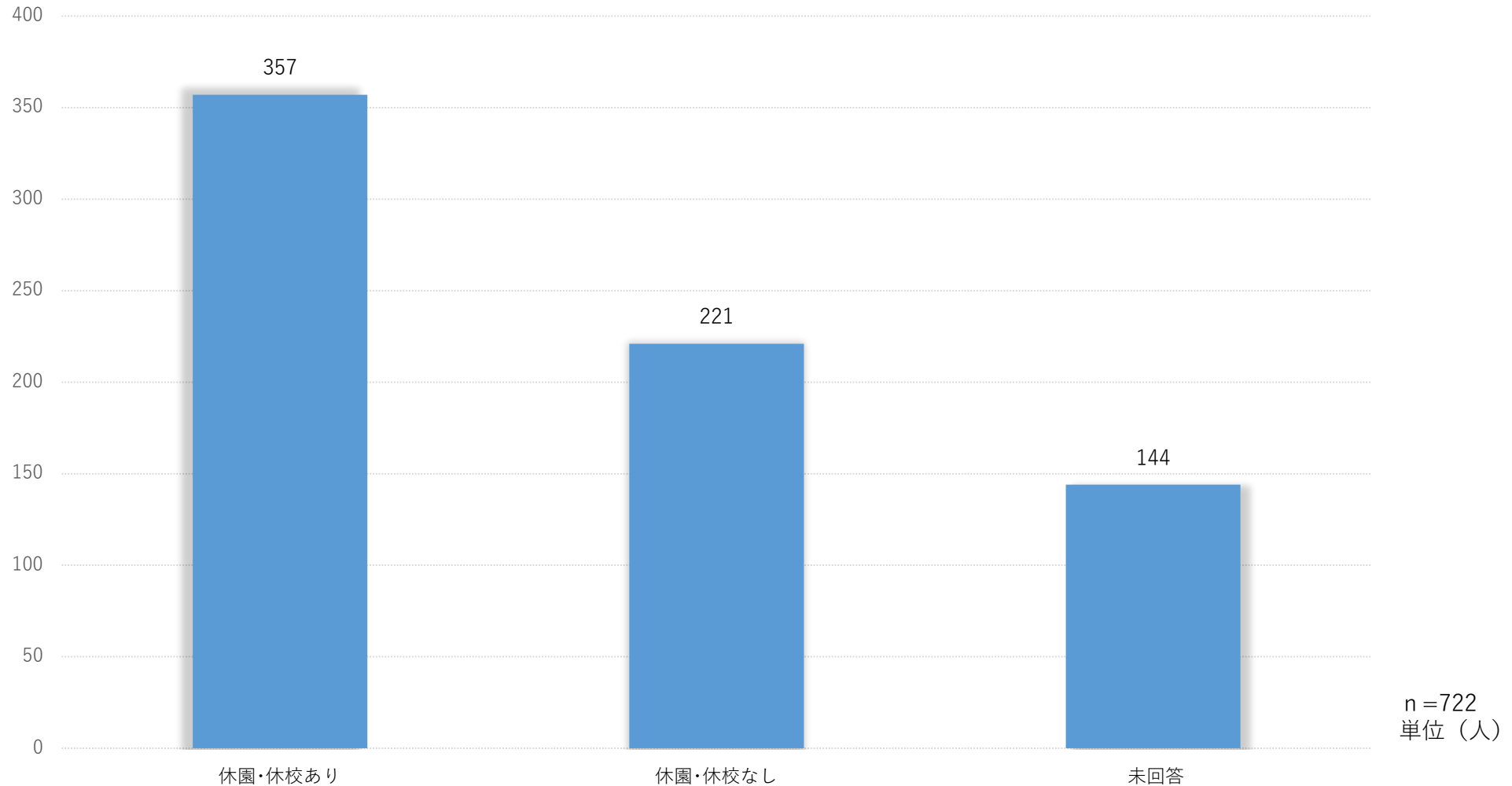
## 減収による滞納の有無

コロナの影響を受ける中，生活する上で滞納が発生したかを尋ねた。全体の1割で滞納が発生したと回答している。



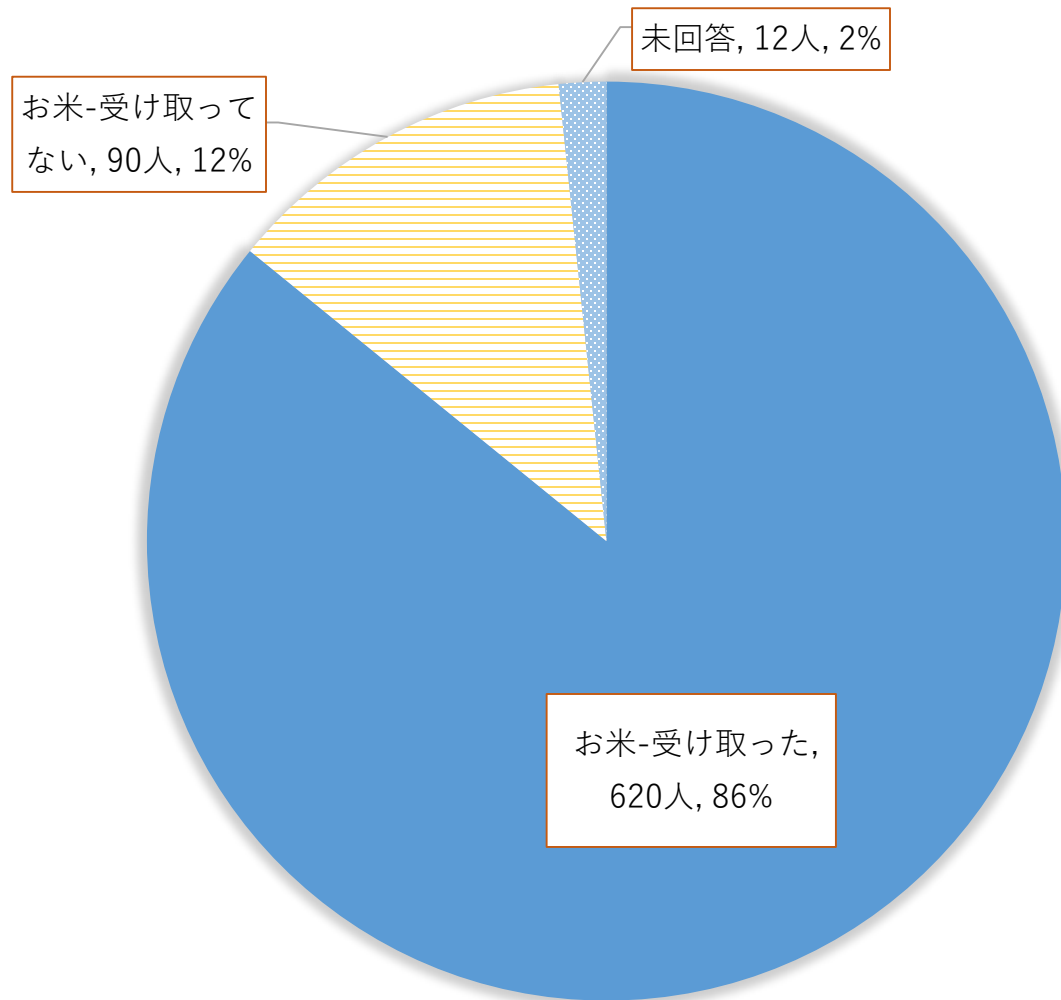
## 子どもの休園や休校について

コロナ禍の影響について、子どもの園や学校が休みになり対応せざるを得なかった世帯は、357人であった。アンケート回答者のおよそ半数の家庭で休園や休校の影響があった。

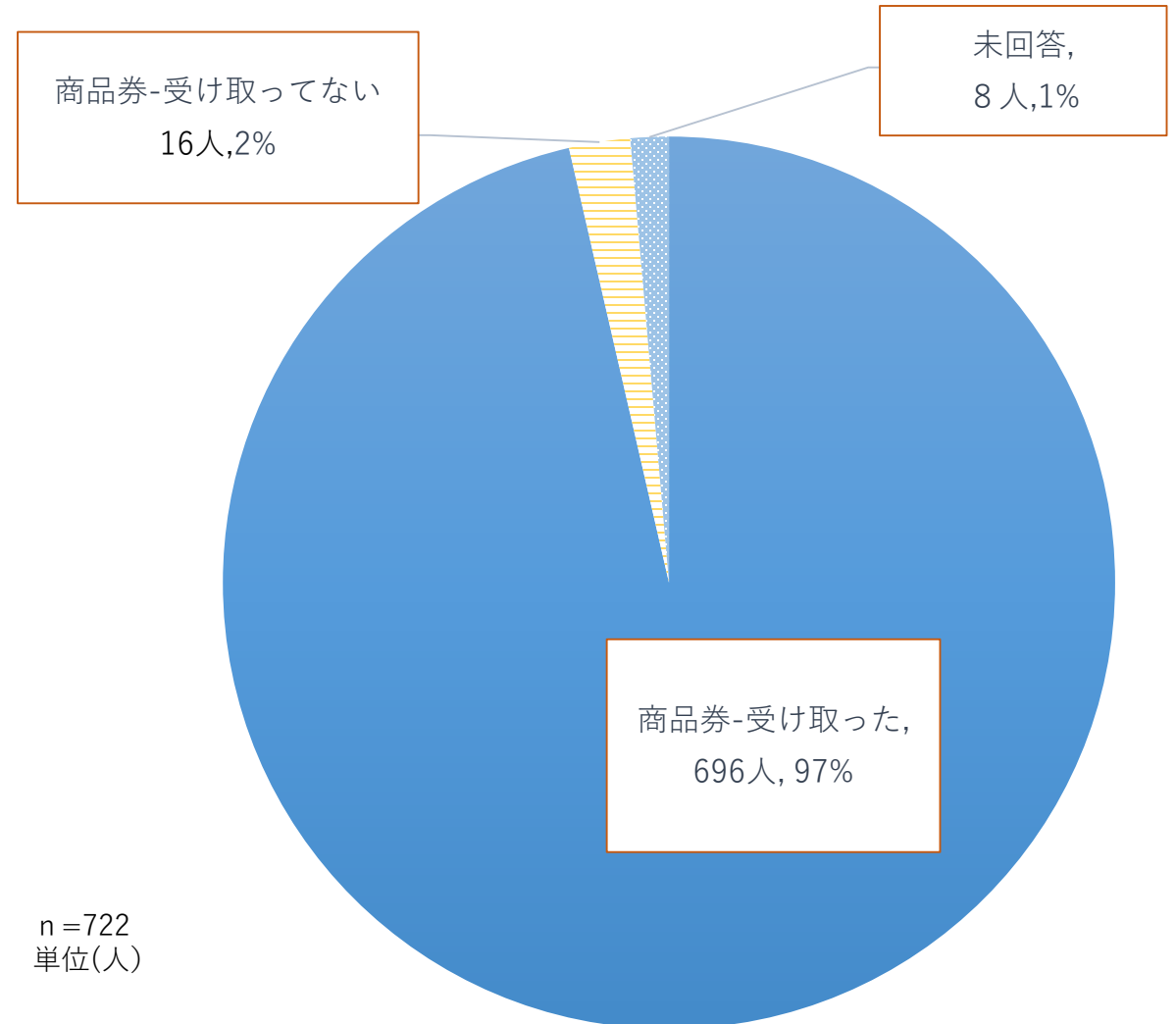


調布っ子応援プロジェクトとして、給食米と商品券の送付を実施。給食米は個別配送，商品券は郵送で配付した。

調布っ子応援プロジェクト（お米）



調布っ子応援プロジェクト（商品券）

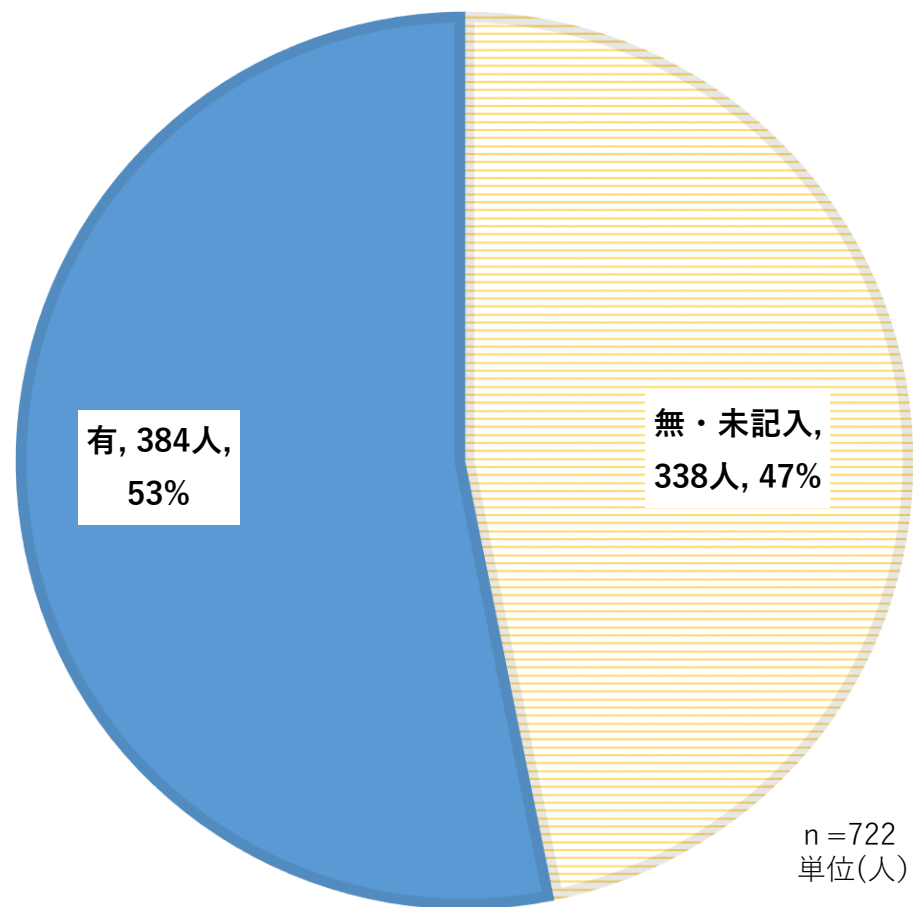


n = 722  
単位(人)

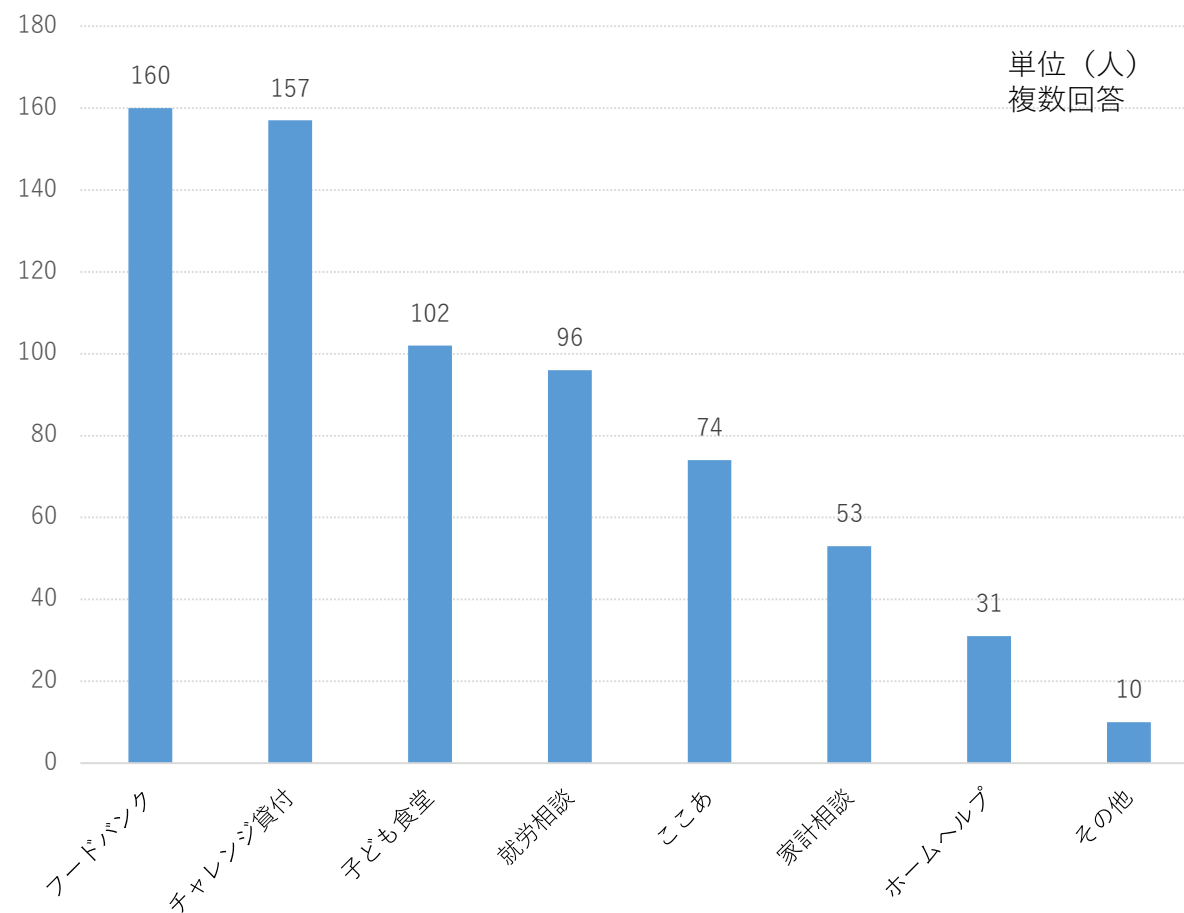
## 今後、利用したいサービス

サービス利用の希望がある人は半数を超えている。その内訳ではフードバンク，塾費用等に活用でき償還免除となる可能性のあるチャレンジ貸付が多数挙げられている。

今後利用したいサービス 有/無

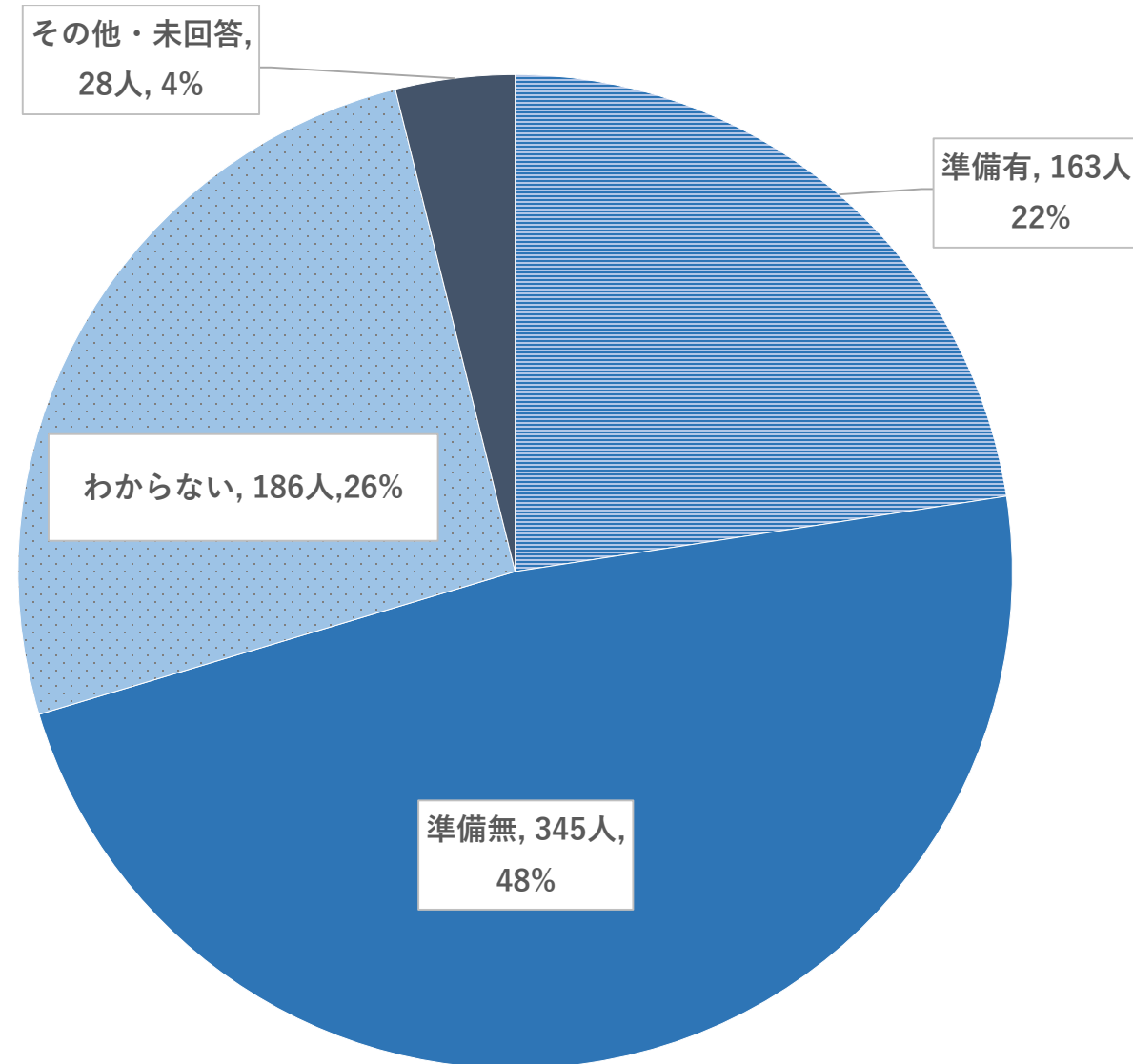


今後利用したいサービス



## 高等教育の学費の準備

専門学校や大学など，高校卒業以降の学費の準備について尋ねた。高校の学費の準備に比べて「準備がある」と答えた家庭は減少した。



n=722  
単位 (人)

## 今不安なことはありますか

自由記述で不安なことを尋ねた。347人が何らかの不安があると返答。アンケート回答者全体の半数近い人が不安を抱えている。「経済的不安」「コロナ関連」「子どものこと」「親子の体調・健康面」「介護」「その他」に分類した。経済的不安を挙げた人が一番多く、不安のある回答者の6割が経済的不安を抱えている。

